

【令和7年度 厚生労働省事業】 歯科口腔保健の推進モデル事業報告

2026年3月10日

沖縄県 渡名喜村

新垣佐知子



民生課

渡名喜村の概要

沖縄本島那覇から北西海上58kmに位置し、渡名喜島と入砂島の2島からなる。周囲12.5km、面積3.87km²。

沖縄県最小、日本で2番目に小さい自治体。

沖縄本島からフェリー（1日1往復）で2時間。

人口：277人 男性：165人女性：112人

世帯数：202戸 外国人：3人

年少：4.69% 壮年：46.93%

高齢者：50.18%

75歳以上：25.99%



当村の歯科施設と これまでの歯科口腔保健の取り組み・課題

村の歯科医療機関について	これまでの取り組み
<ul style="list-style-type: none">• 村立歯科診療所が1か所(休業中)• 歯科医師 1 人常勤• 歯科衛生士、助手、歯科技工士は不在• 歯科衛生士がいないため、令和7年度は可能な範囲で運営	<ul style="list-style-type: none">• 以前は小中学生に夏休み、春休みにフッ素塗布を実施していたが、コロナ禍後中断• 乳歯萌出児～未就学児に年 2 回歯科健診とフッ素塗布実施• 成人期以降の歯科事業なし

課題→成人期以降を対象とした歯科保健施策不十分で、歯周病と全身疾患との関連性や歯周病予防、定期健診の重要性について理解が低い。また、島での歯科医療体制が整っていないため、歯科健診の機会が少ない。

今回実施した歯科モデル事業内容について

- ① 国保データベースを活用し抽出した糖尿病・予備軍を対象にアドチェック
- ② 村歯科診療所歯科医師による健康づくり講演会「健康は健口から」の機会を活用し、参加者へのLDH test NAGATA
- ③ 役場職員対象にLDH test NAGATA

口腔チェック、歯周病と全身疾患との関係の周知、歯周病受診勧奨を行った。



① 国保データベースを活用し抽出した 糖尿病・予備軍対象のアドチェック

- 対象：国保データベースより抽出した糖尿病及び予備軍
HbA1c5.6%以上の28人のうち23人（男性17人 女性6人）
- 方法：保健師2人で地区を分け個別家庭訪問。
 1. 糖尿病と歯周病、歯周病と全身疾患の関係、歯周病チェックの意義を説明し事前アンケートを記入。
 2. 飲食や歯みがきの状態を確認し可能であればその場で採取、採取できない状態であれば翌日以降に再訪問し検体回収。
 3. 検体を冷凍保存し、検査員来島にて検査判定。訪問にて結果返し、説明。
 4. 1か月後の事後アンケートを訪問にて実施。その場で回収。

② 歯科医師による健康づくり講演会「健康は健口から」の機会を活用した参加者へのLDH test NAGATA

- 対象：全村民向け健康村づくり講演会への参加者16人中
実施15人（男性10人 女性5人）
- 方法
 1. 受付時唾液採取。LDH test NAGATA実施。
 2. 歯科医師による歯周病と全身疾患の関係、歯周病チェックの意義の講演。講演会中に結果返し。
 3. 事前アンケート記入、回収。
 4. 1か月後のアンケートはNTTデータ様より郵送、回収。



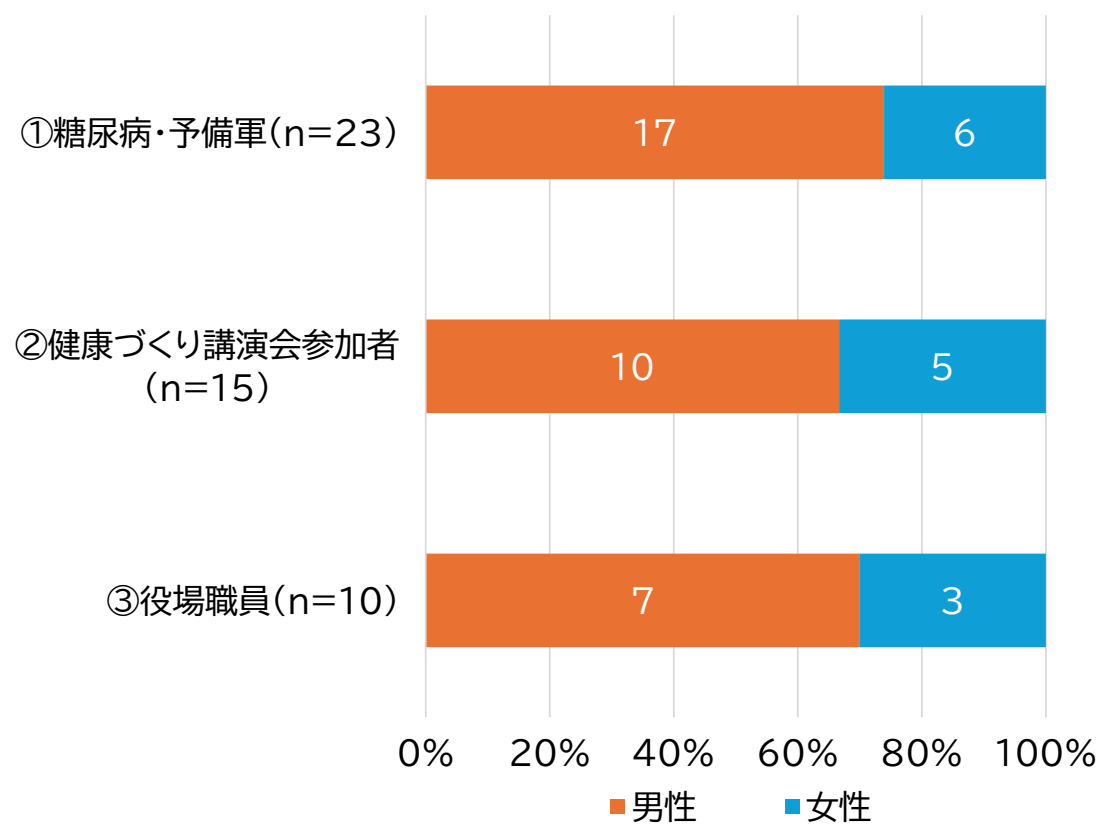
③ 役場職員対象にLDH test NAGATA

- 対象：役場職員 実施10人（男性7人 女性3人）
- 方法：庁舎内事務作業中の職員に声かけ、依頼。
 1. 歯周病と全身疾患の関係、歯周病チェックの意義の説明。
事前アンケート記入。
 2. LDH test NAGATA実施。結果が出次第結果返し。
 3. 1か月後の事後アンケートは庁舎内で依頼、回収。
(今回遅れてしまい1.5ヶ月後実施)

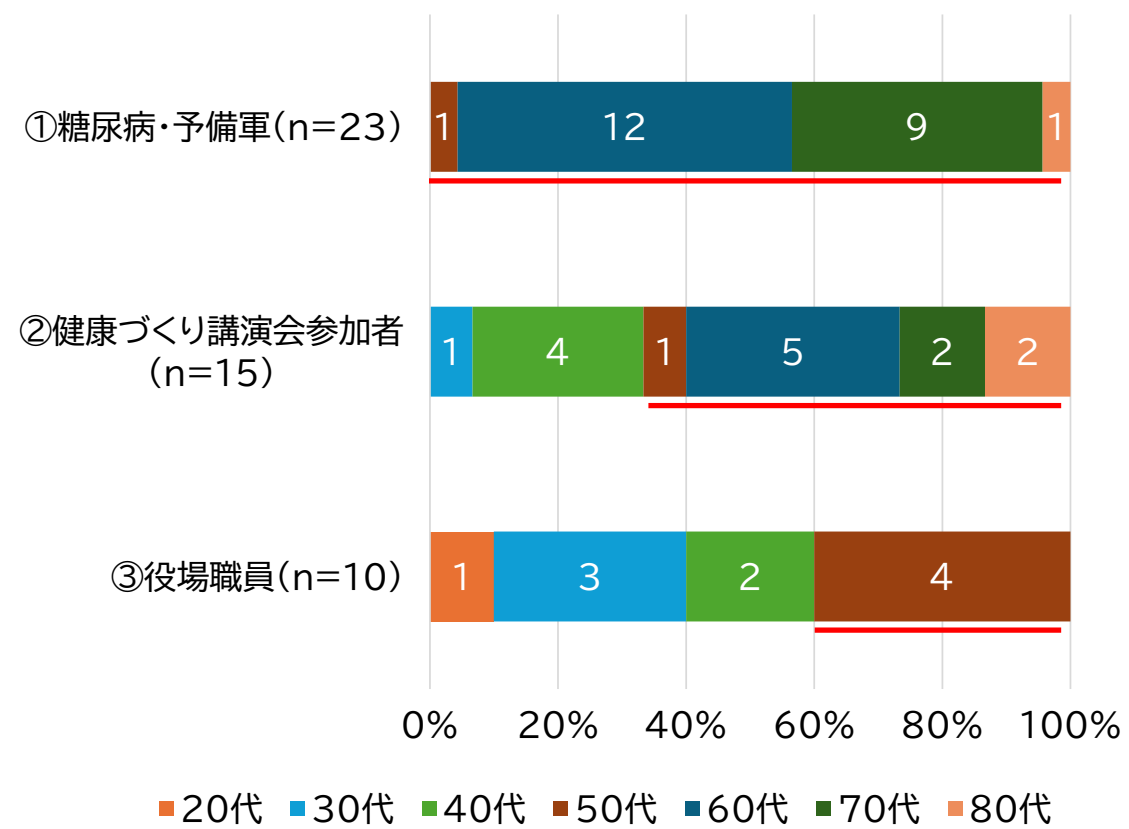


参加者の属性

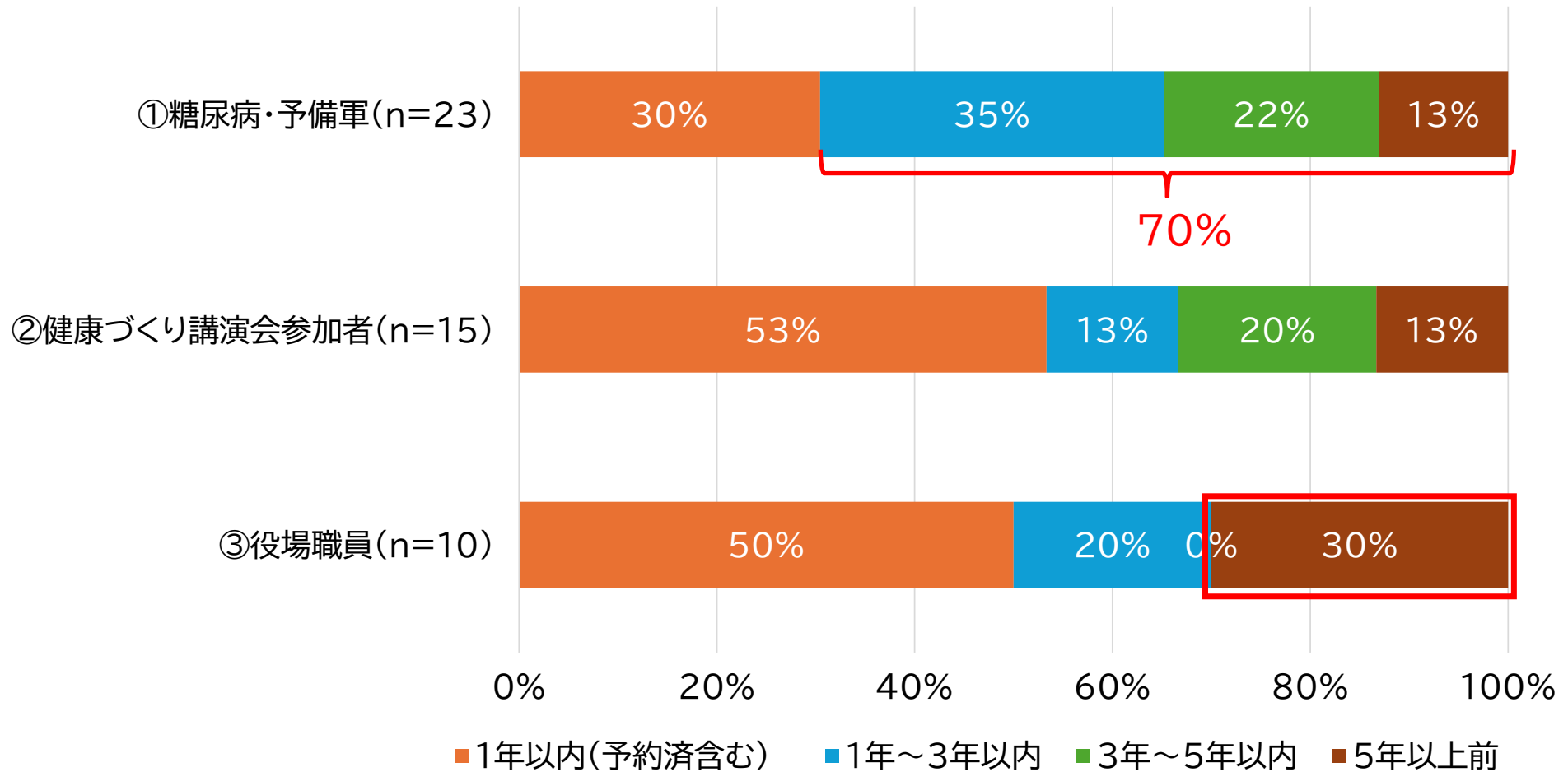
性別



年代

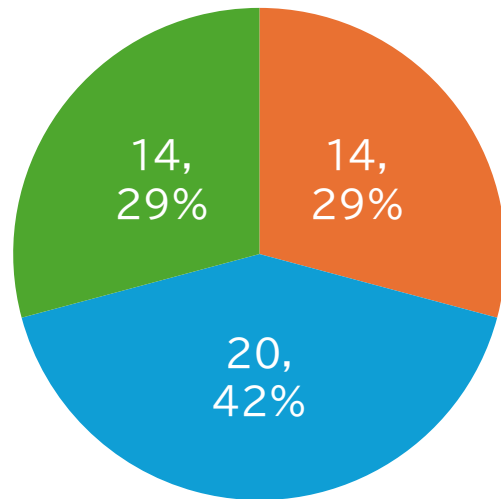


参加者の過去の歯科受診状況



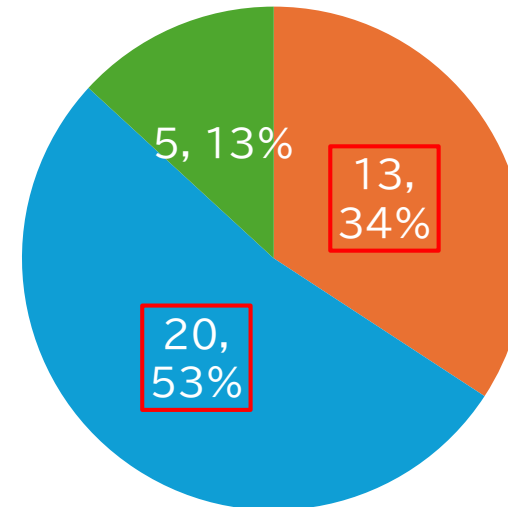
口腔チェックの結果と実施後の歯科受診状況 (全体)

口腔チェック結果



- A: チェック結果低め
- B: チェック結果中程度
- C: チェック結果高め

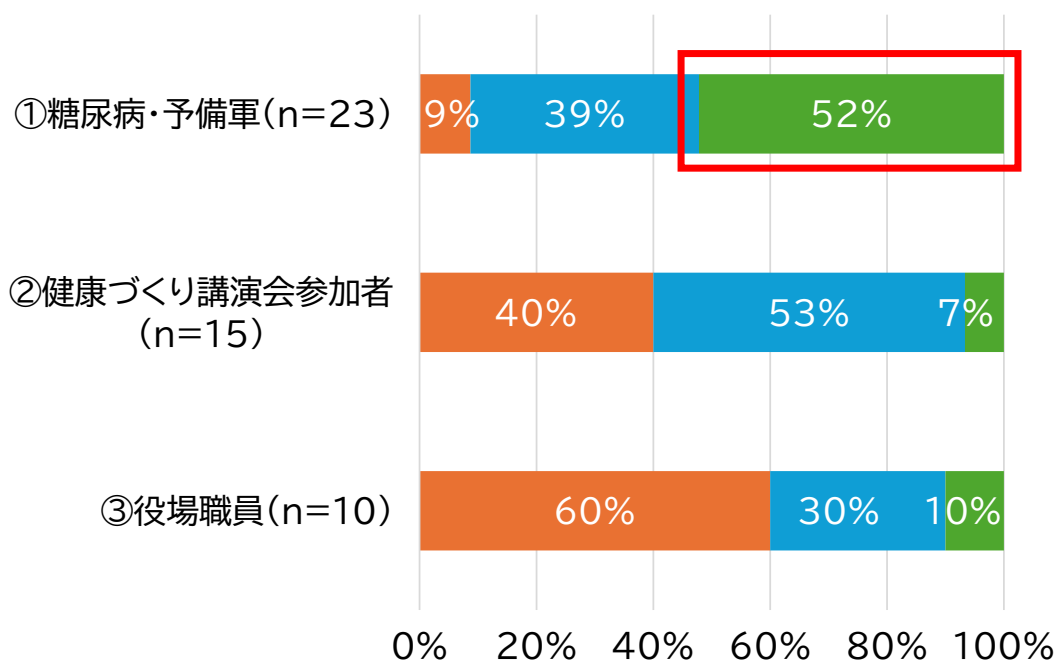
実施後の歯科受診状況



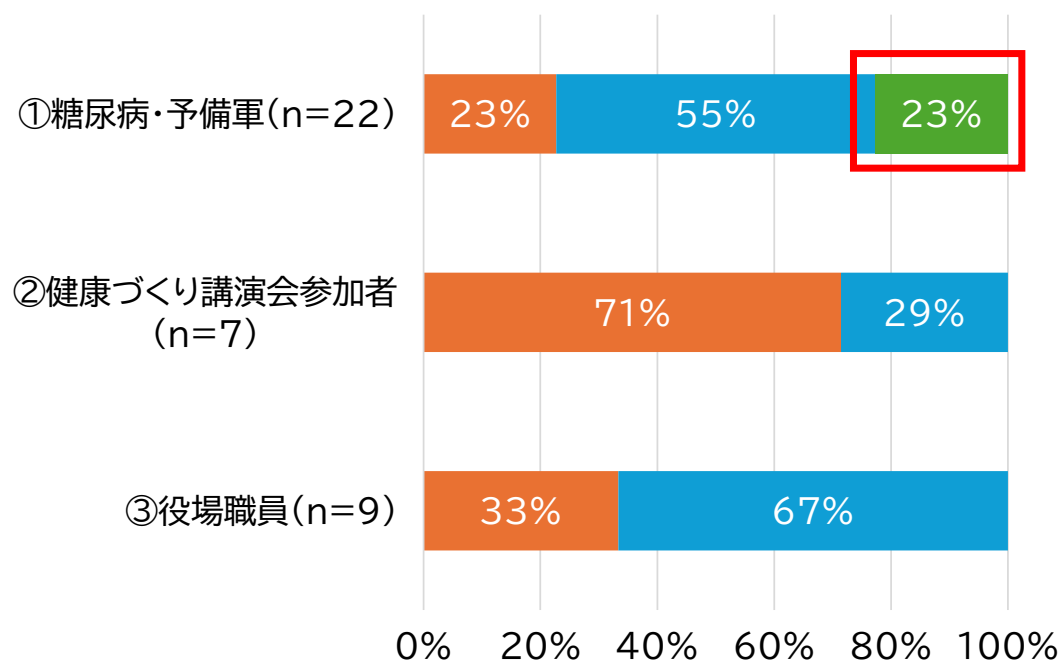
- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

口腔チェックの結果と実施後の歯科受診状況 (実施機会別)

口腔チェックの結果



実施後の歯科受診状況



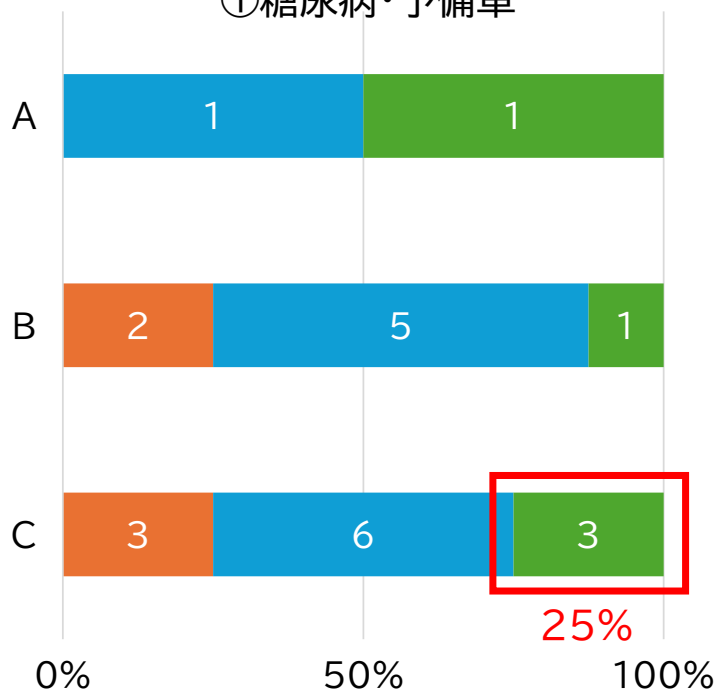
■ A: チェック結果低め ■ B: チェック結果中程度 ■ C: チェック結果高め

■ 歯科受診した(予約済含む) ■ 今後受診するつもり ■ 歯科受診していない

口腔チェックの結果別の歯科受診状況

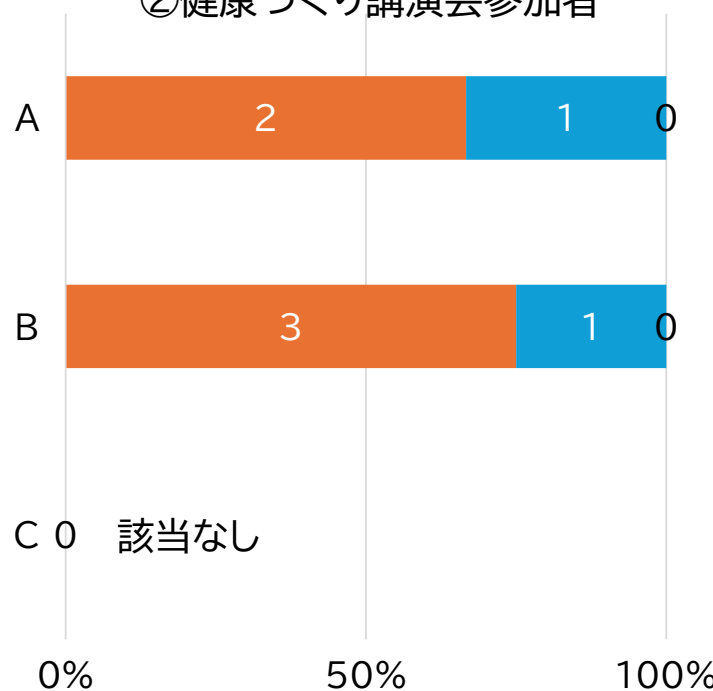
A:チェック結果低め
B:チェック結果中程度
C:チェック結果高め

①糖尿病・予備軍



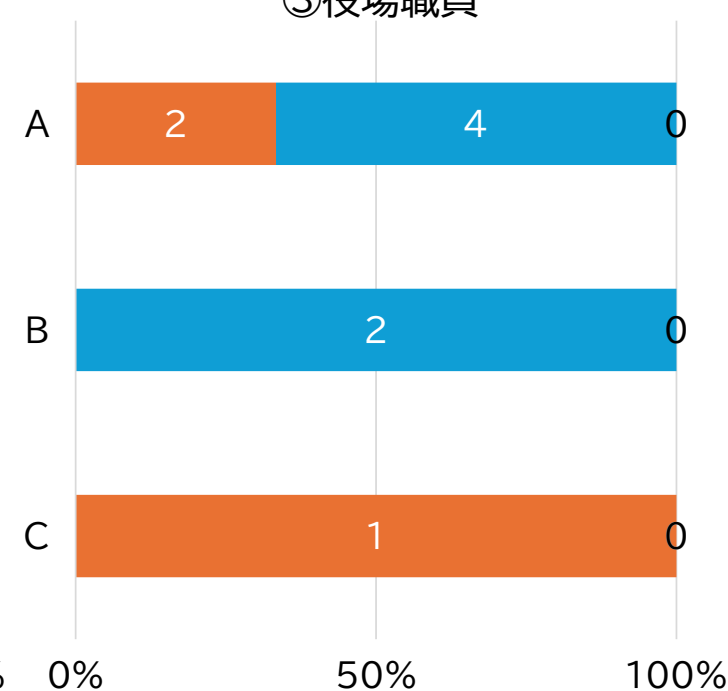
- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

②健康づくり講演会参加者



- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

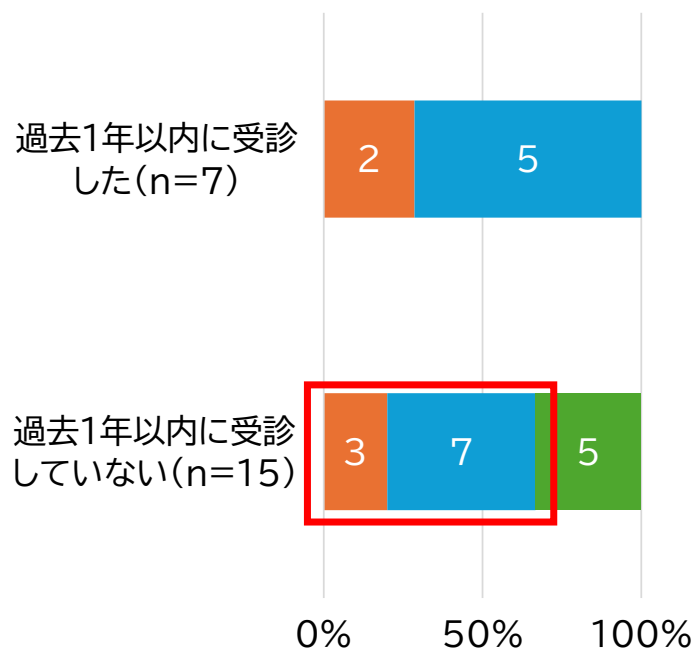
③役場職員



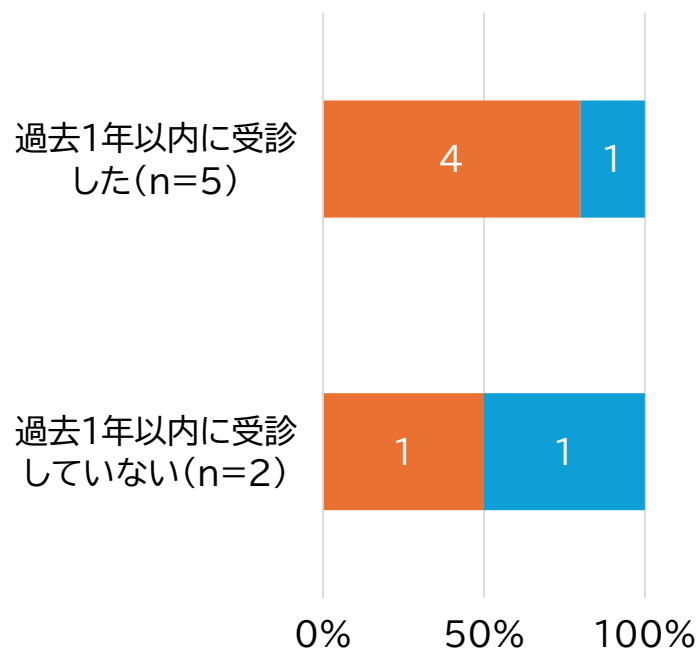
- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

過去の受診状況別の口腔チェック後の歯科受診状況

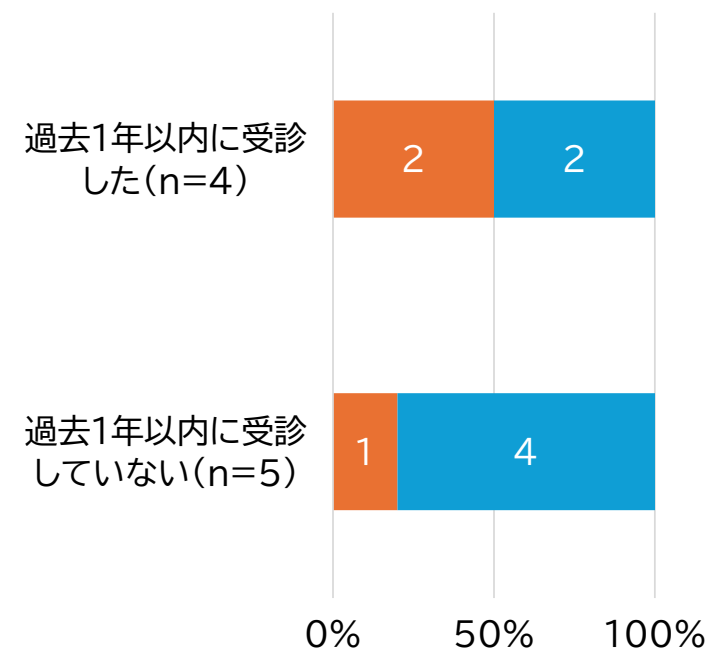
①糖尿病・予備軍



②健康づくり講演会参加者



③役場職員

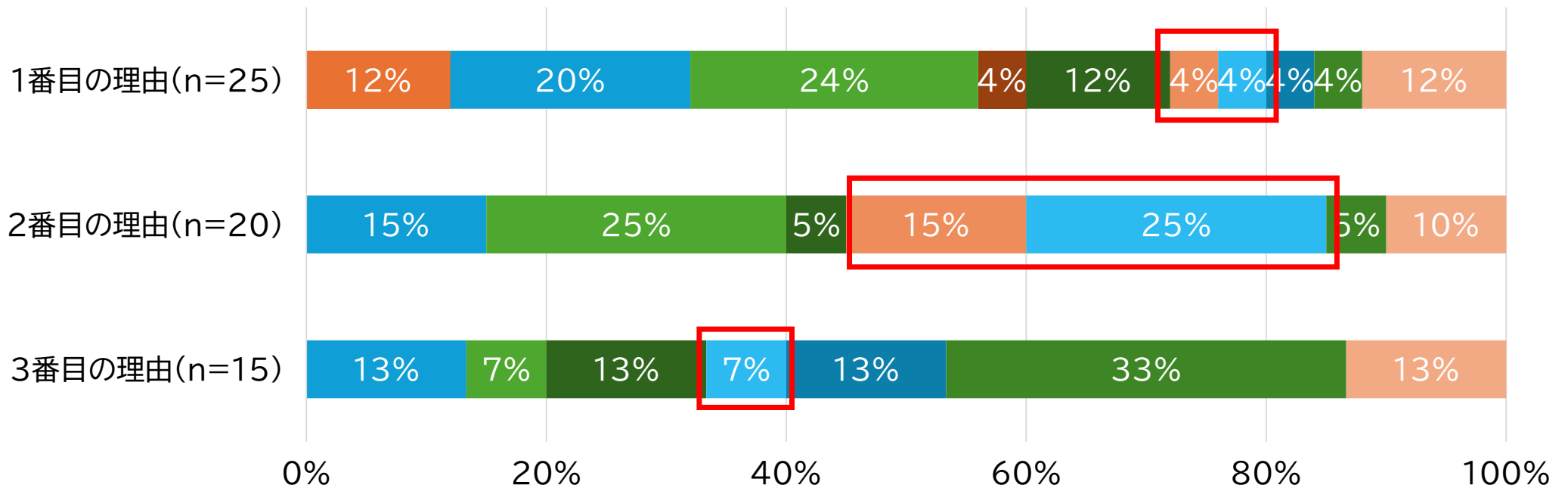


- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

- 歯科受診した(予約済含む)
- 今後受診するつもり
- 歯科受診していない

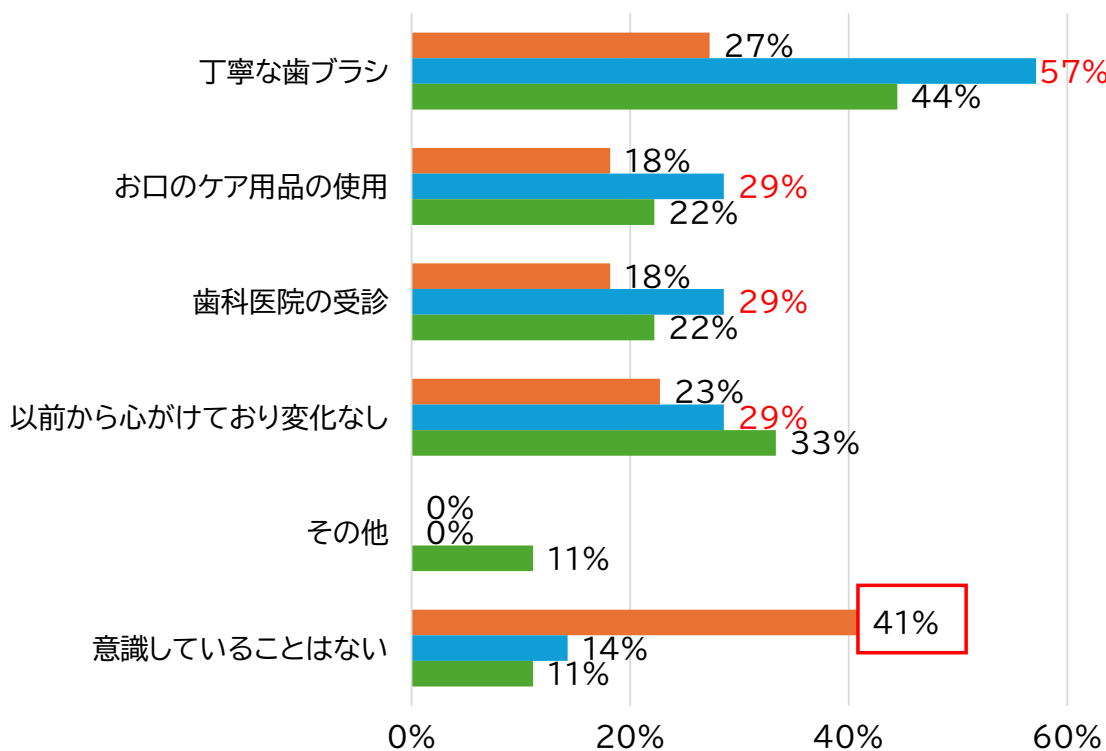
歯科医院を受診しなかった理由



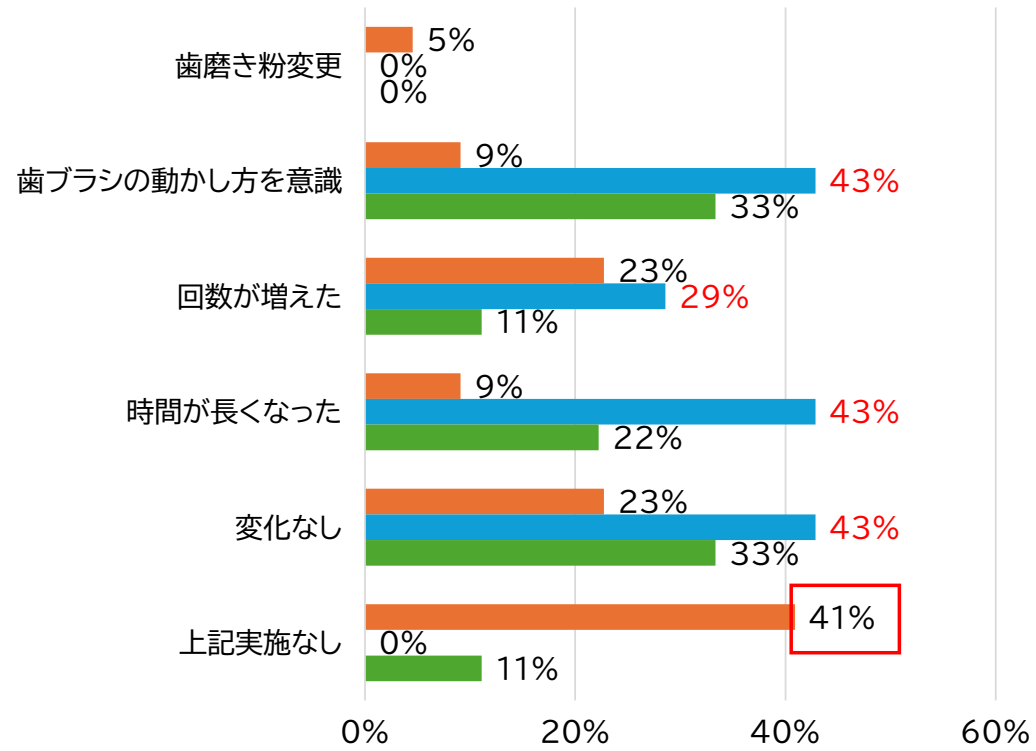
- タイミングではない
- 必要性を感じていない
- 自覚症状がないため
- 歯科医院が分からない
- 電話での予約が面倒
- 希望する時間帯の予約が取れない
- 診療時間が自分の都合と合わない
- 通いやすい立地の歯科医院が見つからない
- 費用が心配である
- 通院回数や期間が不明
- 歯科医院への恐怖心
- 特に明確な理由はない
- その他
- なし

口腔チェック後の意識の変化

実施後に意識するようになったこと



歯みがきで心がけるようになったこと

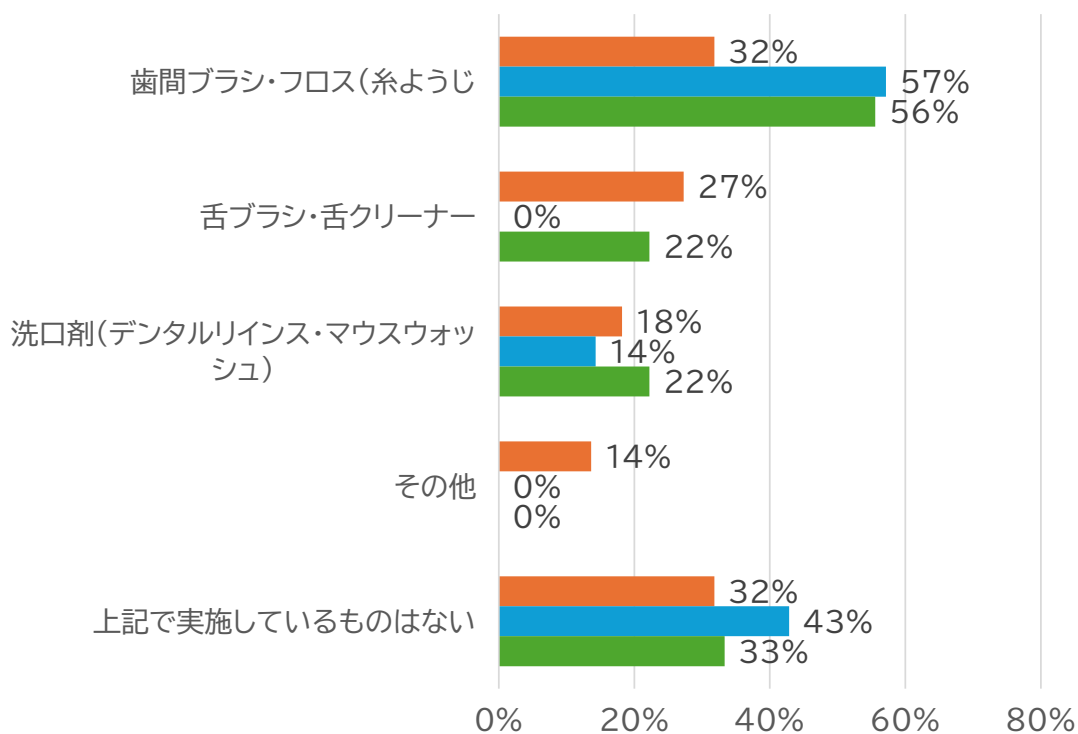


■①糖尿病・予備軍 (n=22) ■②健康づくり講演会参加者 (n=7) ■③役場職員 (n=9)

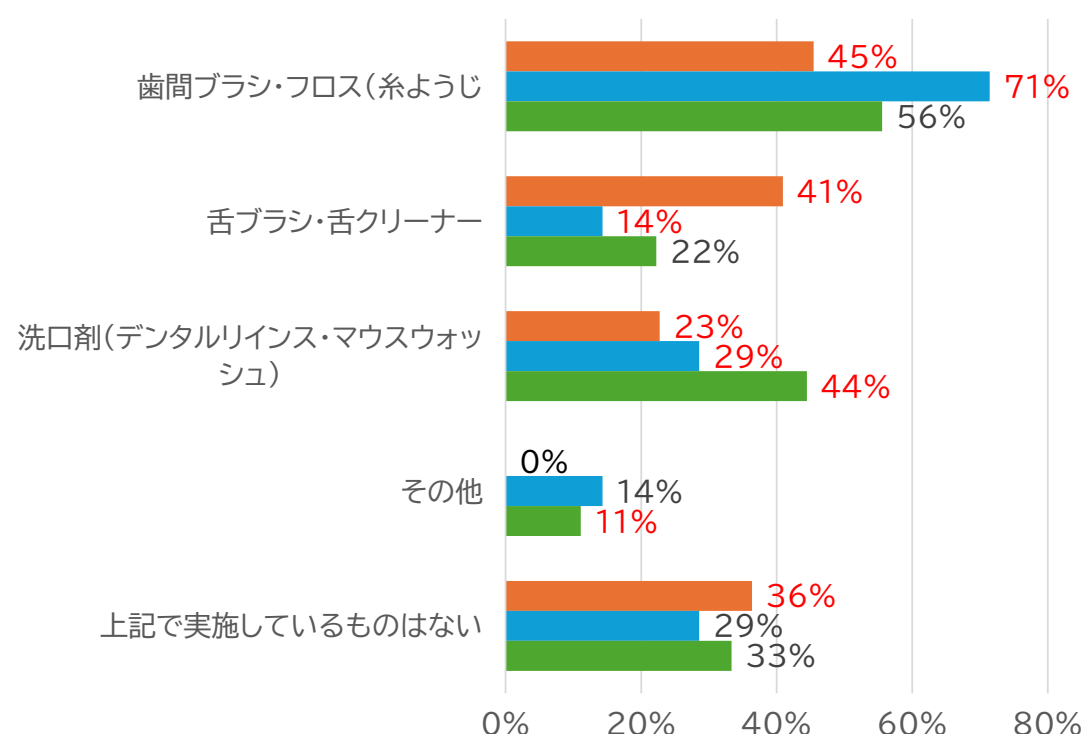
■①糖尿病・予備軍 (n=22) ■②健康づくり講演会参加者 (n=7) ■③役場職員 (n=9)

口腔チェック後のお口のケア状況の変化

実施前のお口のケア



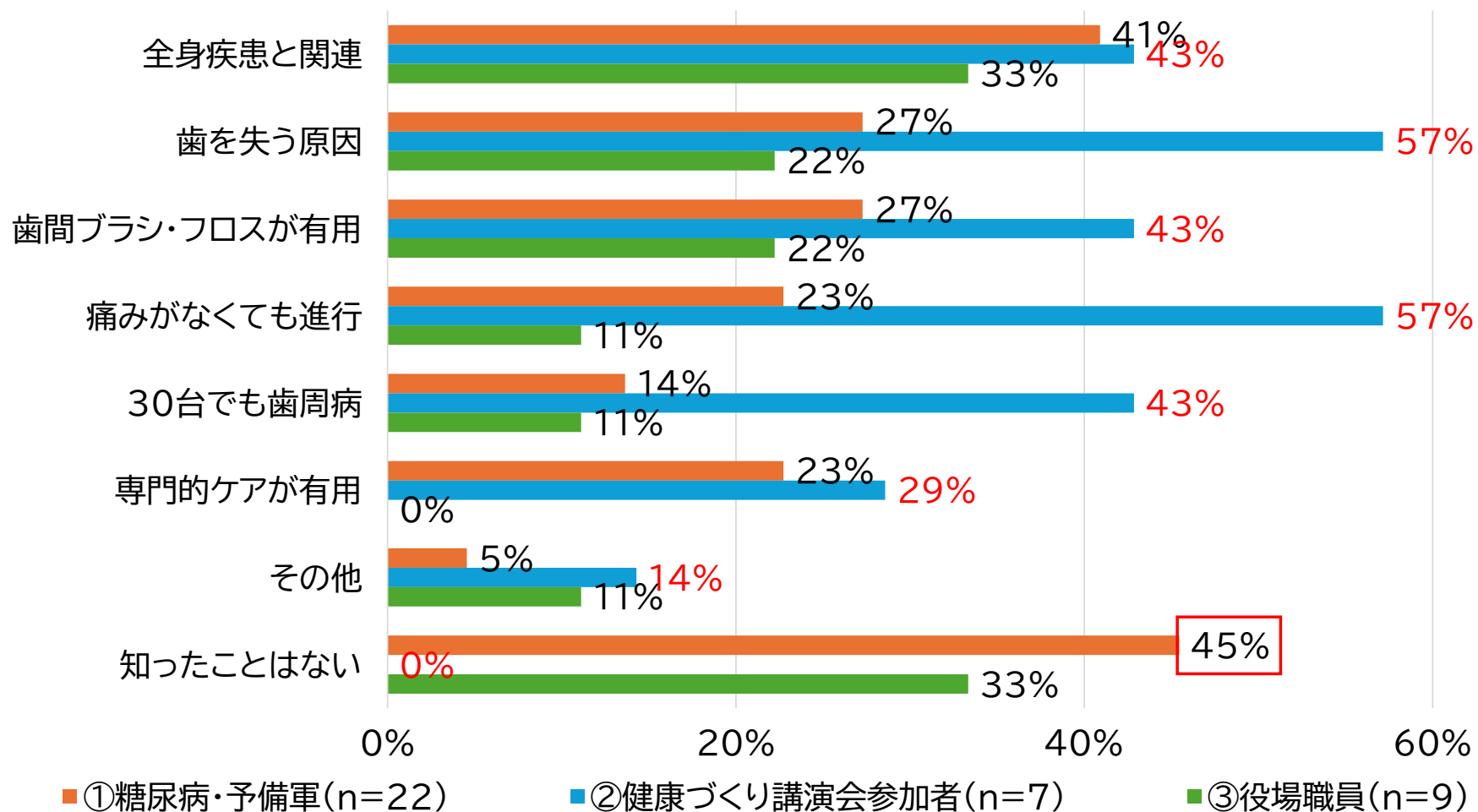
実施後のお口のケア



■①糖尿病・予備軍(n=22) ■②健康づくり講演会参加者(n=7) ■③役場職員(n=9)

■①糖尿病・予備軍(n=22) ■②健康づくり講演会参加者(n=7) ■③役場職員(n=169)

口腔チェック後に得た知識



モデル事業を通しての成果

- ① 国保データベースを活用し抽出した糖尿病・予備軍対象にアドチェック
 - ・糖尿病と歯周病の相互関連性を知り、**自分の口腔衛生状態の見える化で口腔ケアの意識づけが多少できた。**
- ② 村歯科診療所の歯科医師による健康づくり講演会「健康は健口から」の機会を活用した参加者へのLDH test NAGATA
 - ・歯科医師から歯の構造や咀嚼、嚥下の仕組み、齲歯・歯周病、歯周病と全身疾患の関連性の講演を聴きながら口腔チェック結果で自分の歯リスクを知る事で、セルフケアや定期健診等歯科口腔保健の重要性をより感じたという声が多く聞かれた。**セルフケアの質の向上、歯科受診につながった割合が高かった。**
- ③ 役場職員対象にLDH test NAGATA
 - ・年齢層が若いこともあるのか、歯科衛生に留意している人が多かった。**口腔チェック後、セルフケアの意識づけができた。**

感じられた課題

- 口腔チェックの意義や歯周病の説明が十分でなく、**口腔衛生の大切さを理解してもらうことが難しかった**。特に喪失歯が多く残歯が少ない方については困難を感じた。
- **健康づくり講演会に参加した方は、もともと健康に対する意識が高い**。その他の方々への周知・啓蒙が必要であるため、実施方法の検討が必要。
- 歯周病について、歯周病と全身疾患との関連性、歯周病予防、定期健診の重要性について**理解を得られた方々についても、島の歯科診療所が半休業していることにより受診が簡単でないこと**で健診を受けられないと考えられる。
- 高齢化している本村では、村内を自由に移動できる人、フェリーで沖縄本島に通院できる人でなければ定期健診・治療での受診も困難であり、**セルフケアを意識してもそれだけでは十分な予防ができない**。村の歯科診療所の再開を望む声が多数聞かれた。

今後の取り組みの検討

- 個別訪問、生活習慣病及び歯科に関する健康づくり講演会や集いの場等において、**歯科口腔保健に係る行動変容に寄与する内容を取り上げて周知する。理解を深めることで定期健診受診の意識を高める。**
- 住民健診時の歯周疾患検診実施を検討し、**普段歯科健診の機会のない村民にも参加しやすい機会をつくる。**
- 高リスク者の中で、今年度より開始した**節目歯周疾患検診該当者への受診勧奨強化。**
- 歯科医師と連携を図り、村民へ歯周疾患健診及びフッ素塗布の意義をしっかりと周知する。また、**島外で健診を受ける機会を持ってない村民への健診機会を作るよう検討する。**



ご清聴、
いっぺ～にふえ～で～びる